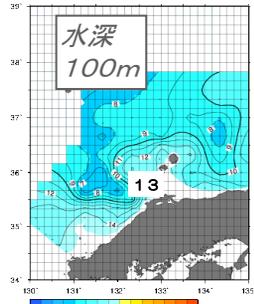
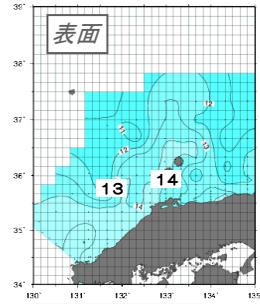


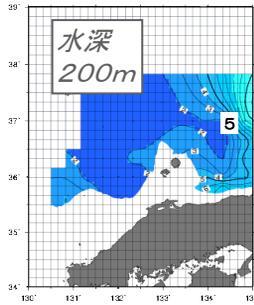
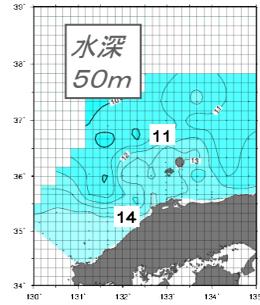


発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)
試験船による海洋観測結果 (4月上旬)



鳥取県沖と隠岐周辺海域は13℃前後で先月より3℃上昇し、平年並の値となっています。

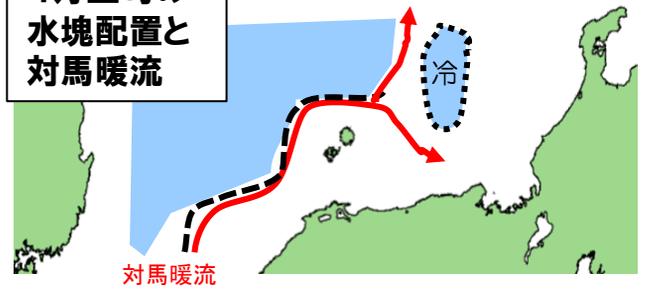
隠岐周辺海域は13℃前後で先月より3℃上昇しました。



鳥取県沖と隠岐周辺海域は13℃前後で先月より2℃上昇し、平年並の値となっています。

若狭沖北緯37～38°付近に暖水塊が分布しています。

4月上旬の水塊配置と対馬暖流



- 島根沖冷水の沿岸への張り出し：島根沖冷水は先月に引き続き張り出しが強く隠岐西方に接岸しています。また、兵庫沖に冷水塊が発達しています。
- 沖合の対馬暖流：対馬暖流は島根沖から隠岐西方を通り北方へと流れ、北緯37°付近で東進しています。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ（鳥取県水産試験場で検索してください）に詳しく掲載しています、ぜひご利用ください。

★関西本部からのお知らせ★

関西に打って出ませんか？

鳥取県関西本部では、関西圏に打って出る事業者の皆さんのサポートを行っております。

随時の販路開拓相談にのるほか、関西本部主催の商談会(大阪)を年に2回、鳥取県内に関西のバイヤーの方をお招きし、関西で売れる商品へのアドバイスを実施する「商品クリニック」を年に2回、「関西に打って出る事業者研修会」を年に1回予定しています。



昨年2月に実施した商談会の様子。県内23事業者の方に出展いただき、78社121名のバイヤー等の来場がありました。水産加工品の出展は、毎回、人気です。
(商品クリニック、商談会の開催案内は各漁協、商工会、団体等に送付する他、関西本部HPにも掲載します)

今年度第1回目の商品クリニックは5月下旬に、商談会は7月下旬を予定していますので、興味、関心のある方は、ぜひ関西本部 本田 06-6341-1988までお問い合わせください。

(関西本部 本田)

★水産課からのお知らせ★

- 今月の漁業許可証更新情報
平成26年5月から6月までに許可の更新が必要な漁業種類は以下のとおり
平成26年5月31日まで・・・中型まき網漁業(もじゃこまき網)、小型まき網漁業(もじゃこまき網)
平成26年6月30日まで・・・機船船びき網漁業(さより船びき網)
- 遊漁船登録業者の皆様へ
遊漁船登録に保険期間等の変更があった時は、変更申請をお忘れなく

水産試験場

マイワシの水揚げが始まりました

3月の境漁港の旋網の水揚げは、カタクチイワシが豊漁(3月の水揚げ量は約4,200トン)でしたが4月の中旬に入ってからマイワシが混じるようになってきました。

漁獲されたマイワシは体長18cm前後の2歳魚もみられましたが、主体は15cm前後の1歳魚でした。稚魚調査の結果や漁獲情報から昨年(平成25年)産まれの子のマイワシの歩留まりが非常に良かったと考えられますので、今後の漁獲の主体は1歳魚と考えられます。



入港した運搬船



測定を待つマイワシ

平成26年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

栽培漁業センター

賀露沖にもトラフグはいました！

栽培漁業センターでは、速効性のある沿岸漁業振興を行うため、これまで漁獲対象とされていなかった収益性の高い高級魚の漁場、資源状況等の把握を行う「即戦力！高級魚の資源実態把握調査(調査期間：平成24～26年度)」を実施しています。成果が出ている調査を紹介します。

★★★★★フグはえ縄試験漁獲(トラフグを狙え！)★★★★★

天然トラフグは、現在、漁獲量も少なく、非常に美味であるため、横綱級の単価で取引される代表的な高級魚です。
県内でも西部の境港市や米子市淀江町にて、主にはえ縄で年間3トン程度漁獲されていますが、現在のところ、県東中部ではトラフグを狙った漁は行われていません。
そこで、県東中部でもトラフグが獲れるものかを把握するため、はえ縄による試験漁獲を実施しています。
これまでの試験漁獲で、長瀬沖(5月：水深55m)、小浜～長尾鼻沖(2～3月：水深79～89m)でトラフグを漁獲しており、今年度は更に東の賀露沖で試験漁獲を行っています。
4月に2回実施した試験漁獲の結果、水深38mと50mでトラフグを漁獲しました。



また、これまでの試験から鳥取県中部海域の沖合の水深50～90mにはマフグ(なめらぶく)が多く分布することも分かりました。
今後とも調査、情報発信を行い、県東中部でフグはえ縄漁を営む漁業者が出てくるようサポートしていきます。



共和水産株式会社
代表取締役会長 相田 仁
〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL 0859-44-7171 (代) FAX 0859-42-6530